《続・ちょっと ひとこと》　（三）

「お茶が入りました」

◆日本語って不思議な言葉。
ほんのひとことでも、いろんな言い回しが
できるし、微妙な表現の違いで、
受け取る側の印象が変わったりする。

◇その一つが「お茶が入りました」という表現。
正しい日本語の使い方なら、
「（私が）お茶を入れました」となる。
なぜなら、お茶が〝自分で〟湯呑みに入る
わけじゃないから。前者の表現の背景には、
〝私がした〟という押し付けがましさを感じ
させない配慮がある。相手への気遣いと優しさ
がこもった、美しい日本語だなあと感じる。

◆さて、もうすぐ茶摘みの季節。新茶を用意して、
あの人に声をかけてみようかな。
「お茶が入りました。一息どうですか？」

―　天理のことば　―

「皆んな心持って、優しい、優しい心
持ってくれ。これより楽しみ無い。」

（明治三十三年七月三日）